

新潟市小教研の研究活動報告

会 長	杉 中 宏
副会長	長谷川 義郎
副会長	仲川 容子
副会長	近 藤 文男
評議員	杉 中 宏

1 研究活動の方針

新潟市小学校教育研究協議会は昭和24年に創設され、今年度61年目になる。平成17年に近隣市町村との合併により会員数が増加し、平成22年度は2628名を数える。下記の方針の下、実践的な研究活動の推進に当たっている。

- (1) 新潟県及び新潟市の小学校教育の課題解決を目指すとともに、各学校の指導の改善に資する実践的研究を推進する。
- (2) 年間9回の「市小研の日」を中心に20の研究部が自主的に研究を推進し、毎年3つの研究部がその成果を発表する。
- (3) 各研究部の主体性を尊重し、研究体制や運営を工夫し効果的な研究推進に努める。
- (4) 研究発表会の開催、研究紀要「教育実践」(年1回)及び会報の刊行(年2回)等により、研究の質的向上とその波及に努める。

2 研究活動の実際

- (1) 研究発表会の開催(平成22年8月18日(水)会場:新潟テルサ)
午前と午後の2回開催し、全会員が一堂に会する発表会である。
今年度は、音楽部、学校図書館部、情報教育部が研究発表を行い、各部担当理事が指導した。その研究主題は以下の通りである。
音楽部 「楽しく音楽とかかわり 自ら考え 表現や鑑賞を豊かにする子どもを目指して」
学校図書館部 「本との出会いを生み出し、豊かな心を育てる読書指導」
情報教育部 「他とのかかわり合いの中で、自分の考えを深めていく子どもを目指して～【わくわく情報教育モデル】の作成を通して～」
- (2) 各研究部の活動(「市小研の日」の活動)
各教科、総合学習、外国語活動、道徳、特別活動、学校図書館、生徒指導、特別支援教育、保健、給食、学校事務、情報教育の20研究部を設置している。各研究部では、研究主題、研究内容、研究方法等を明確にした年間事業計画に基づき、授業研究、講演会、実技指導など会員のニーズを生かした活動を自主的・継続的に行っている。
- (3) 会報及び研究紀要の刊行
会報「市小研だより」を年2回発行、研究紀要「教育実践」第54号を発刊する。

3 市小研が主管した主な事業

- (1) 図画工作実技講習会 8月19日(木) 立佞小学校
- (2) 第33回児童による情報交換会 9月22日(水) 黒崎市民会館
- (3) 第46回児童生徒科学研究発表会 10月6日(水) 新潟市総合教育センター
- (4) 第56回小学校音楽祭『にじいろ音楽祭』
11月17日(木)～19日(金) 新潟市民芸術文化会館